

# 第3編 生涯學習



## 第1章 生涯学習・社会教育

少子高齢化の拡大など、生涯学習の重要性が高まる現在、社会教育の担う役割はますます大きなものになっています。

本市においても、社会教育活動の拠点的施設である公民館、図書館、体育施設等を中心として、市民の学習需要の高度化、多様化に応えるため、「いつでも、どこでも、だれでも、なんでも」学ぶことのできる生涯学習社会の構築を目指した学習環境を整備する必要があります。

そのために、市民の主体的な学習、文化活動を支援し、市民が自らの文化的教養を高め、明るく豊かでゆとりのある生活の実現を目指すものです。

### 1 生涯学習に関連する審議会・協議会等

審議会・協議会	内 容
社会教育委員会議	社会教育に関する諸計画の立案や教育委員会の諮問に応じ意見を述べるなど、本市の社会教育の振興を図る。 委員数：13人 任期：2年（H27.6.1～H29.5.31）
公民館運営協議会	公民館運営に関し、館長の求めに応じ調査協議を行い、公民館の円滑な運営や事業の効果的な推進を図る。 委員数：各館12人以内 任期：2年（H27.6.1～H29.5.31）
文化財保護委員会	市内の文化財の指定や活用に関し、教育委員会の諮問に応じ意見を述べるなど、本市の文化財保護を推進する。 委員数：7人 任期：2年（H27.1.29～H29.1.28）
図書館協議会	図書館運営に関し、館長の求めに応じ調査協議を行い、図書館の円滑な運営や事業の効果的な推進を図る。 委員数：8人 任期：2年（H23.8.24～H25.8.23）

### 2 生涯学習と市民文化

事業名	内 容
市民教養講座	[ふるさと講座] 地域の歴史や文化などを学び、その知識を生かして地域で活躍できる人材を育成する。講座の期間は1年間、研究者、大学教授を講師に招く。 全7回講座を開催 受講生：40人 [たけのこ学級] 義務教育修了後の知的障害者の社会参加と生きがいづくりの場として毎月1回スポーツ・音楽・手工芸などの集団活動を実施する。 年11回開催 学級生：47人
家庭教育推進事業	家族のふれあいを通じ、健全な家庭を築いていくため公民館等において家庭教育に関する各種支援事業を開催する。 家庭教育の支援ツールとして、家庭教育手帳を作成する。

<p>文化振興事業</p>	<p>市民芸術文化の振興を図るため、市民の芸術活動の成果を発表する場として開催する。</p> <p>[第60回秦野市文化祭]  期間：9月17日～11月29日  参加団体：文化団体協議会20団体</p> <p>[第45回秦野市展]  期間：10月28日～11月30日 対象：高校生以上の市民</p> <p>[第33回子どもの市展]  期間：10月1日～4日 対象：小・中学生</p> <p>[第6回親子川柳大会]  家庭での日常的な出来事を川柳で表現することで、家族の絆を深めることを目的に、親子などが二人一組で、初句と返句を作成した作品を募集する。  募集期間：7月10日～9月4日 対象：小・中学生とその保護者  表彰式：11月14日  入選作品は公共施設等で巡回展示</p> <p>[第42回親と子の音楽会]  音楽を通じて親子や地域の絆を深めるため開催する。  開催日：12月13日</p>
<p>人権啓発活動</p>	<p>差別のない明るい社会の実現を目指し、各種講演会・講座等の実施により市民の人権意識の向上を図る。</p> <p>[人権推進課との共催事業]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「夏休み子ども映画会」8月24日 文化会館</li> <li>・「人権・男女講演会」11月28日 文化会館</li> <li>・「ウィズユース講演会」7月2日 南が丘中学校  10月21日 東中学校  2月24日 南中学校</li> </ul>
<p>宮永岳彦記念美術館の管理、運営</p>	<p>郷土にゆかりのある故宮永岳彦画伯の業績を紹介する記念美術館の適切な管理運営を行う。半年ごとに常設展示室の展示替えを実施する。</p> <p>また、「芸術文化の発信拠点」を目指して、子供向け創作講座「美術館ワクワク体験」、「ギャラリーコンサート」、「市所蔵浮世絵展」などの自主事業も展開する。</p> <p>開館時間：午前10時～午後7時 休館日：月曜日(国民の祝日の場合は翌平日)、12月28日～1月2日</p>
<p>広畑ふれあい塾</p>	<p>高齢者などが、今まで蓄えた知識や特技を教え、学びあう公設民営型の学習活動の場として、小学校の一部を利用し設置した高齢者福祉施設「広畑ふれあいプラザ」を会場に73講座を実施する。市内3地区で公民館を会場にサテライト教室も開設している。</p>

<p>広域連携中学生交流 洋上体験研修事業</p>	<p>東海大学海洋調査船「望星丸」を利用して、中学生が船上の集団生活を通じ、交流と連携を深めることにより、自主性、協調性及び他人を思いやる心を養う。 期間：8月1日～3日 行程：清水港—新島—清水港 研修生：秦野市・大井町・松田町・中井町・二宮町・清川村の中学生73人</p>
<p>ふれあい通学合宿</p>	<p>子どもたちの生きる力を養うとともに、地域が協働しながら子どもを育む活動として、また、家庭や地域の教育力の向上を図る活動として、本市では、平成15年度から大根中学校区の小学生を対象に学校、PTAをはじめ地域の意欲ある団体やボランティアが連携し、「ふれあい通学合宿」を実施する。 期 間：7月1日～4日 参加者：大根・広畑小学校の4～6年生38人 内 容：地元長寿会との交流、もらい湯、日常生活体験など</p>
<p>報徳仕法啓発事業</p>	<p>二宮尊徳の教えである「報徳仕法」を学び、「報徳精神」が息づくまちづくり・ひとづくりを広めていくため、講演会をはじめ、今年は第21回全国報徳サミット豊頃町大会への市民参加ツアーを開催する。</p>



広域連携中学生洋上体験研修



たけのこ学級

### 3 公民館

市民の価値観の多様化、余暇時間の増大及び超高齢化社会の突入等により生涯学習の重要性が叫ばれるなか、生涯にわたる学習活動を支援するため、学習機会の提供、学習の場の確保に努める。

内 容
<p>現在11館の公民館を設置し、地域に根づいた公民館活動等を展開している。</p> <p>(1) 機能の強化について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 地域の学習拠点としての機能</li> <li>イ 地域の家庭教育支援拠点としての機能</li> <li>ウ 奉仕活動・体験活動の推進</li> <li>エ 学校、家庭及び地域社会との連携</li> <li>オ 地域の実情を踏まえた運営</li> </ul>

(2) 施設の利用について

ア 開館時間は、午前8時30分から午後10時まで

イ 休館日は、月1回の保守点検日、年末年始

ウ 使用料(1時間あたり)は大会議室(ホール)400円・600円、会議室・和室・音楽室など200円

エ 市民のグループや個人が、いろいろな催し物や会合に、また、読書、勉強、体力づくり、レクリエーション等に使用できる。ただし、営利を目的とした事業、特定の政党の利害に関する事業、特定の宗教、教派、教団を支援する事業(社会教育法第23条)には使用できない。

(3) 事業について

ア 病気予防・介護に関する講座

健康づくり体操、高齢者くらしのミニ講座、介護予防教室、シニア健康カレッジなど担当課や地域高齢者支援センターと共催して実施

イ 運動に関する講座

卓球教室、フリーテニス教室、体操講座など子どもから高齢者を対象に実施

ウ 料理に関する講座

そば打ち教室、ふるさと料理教室、ひな祭りの花巻寿司づくりなど四季折々の季節料理、伝統行事に合わせた料理や男性を対象にした料理教室を実施

エ パソコン・ITに関する講座

パソコン講座、障害者・高齢者パソコン講座、パソコン相談、デジカメ教室など高齢者を中心に連続で実施

オ 趣味・娯楽に関しての講座

油絵・絵画教室、絵手紙教室、陶芸教室、着物着付け教室、ミニ門松づくり教室など市民ニーズの高い各種多様な教室や伝承行事を実施

カ 自然・歴史に関する講座

自然観察会、ゲンジ・ヘイケホテルの観察会、大山道を歩く、里山ハイキング、街並みに残る商家巡りなど市の財産である自然を見て歩きを実施

キ 子ども・親子に関する講座

キッズガーデン、家庭教育学級、絵本とお友達、人形劇場、夏休み子ども映画など子ども、子どもと親、子どもを通して親同士のコミュニケーションづくりを実施

ク その他

ホットサロン、うたごえサロン、心のふるさと童謡講座、クリスマスコンサートなどオープンスペースを利用した講座を実施

(4) 施設の整備について

昭和45年に建設した南公民館を始め、平成13年開館の堀川公民館まで施設建設年度に差異がある中、良好な学習環境の長寿命化を図るため、耐用年数に応じた重要設備更新計画に基づき、順次、改修工事を進める。

- ・大根公民館調理室改修工事
- ・南公民館トイレ改修工事
- ・本町公民館ディスプレイ設置工事
- ・各公民館忠魂碑跡地整備工事

## 第2章 文化財

本市に遺る文化財の保存管理、普及啓発、調査研究活動を行い、各種事業を通じて文化財保護の重要性について理解を求める。

### 1 文化財保護

#### (1) 文化財普及啓発

内		容	
ア 指定文化財特別公開 市内に所在する指定文化財を文化財保護協調週間に合わせて公開する。			
月 日	10/31～11/3		
会 場	宝蓮寺	宝泉院	泉蔵寺 展示館
イ ミュージアムさくら塾 一般成人を対象に実施している秦野の歴史・民俗に係る講演会は、市内各地区を個別にとりあげて開催する。			
月 日	6/27	7/18	10/24 調整中 調整中 調整中
ウ ミュージアムさくら工房 夏休み期間中に児童・生徒を対象としたまが玉作り及び土器作りの体験学習を桜土手古墳展示館で実施する。			
月 日	7/20	7/29	7/30 7/31 8/1 8/20
内 容	土器・成形	まが玉	まが玉 まが玉 まが玉 土器・焼成
エ 桜土手古墳展示館特別展 春季特別展は歴史を初めて学ぶ6年生に、教科書に掲載されていない地元の歴史の周知を図るため、秋季特別展は市内で発掘調査を進めているかながわ考古学財団との共催で、市域及び周辺地域での調査成果を展示する。			
名 称	春季特別展	秋季特別展	
月 日	4/14～6/28	10/7～11/29	
内 容	秦野の歴史 2015	遺跡・遺物が語る！かながわ・秦野の歴史	
オ 青空レクチャー 公益財団法人かながわ考古学財団との共催で、横野山王原遺跡の発掘調査見学会を行う。			
月 日	10/17		
会 場	横野山王原遺跡		

#### (2) 文化財保存管理

内		容	
ア 指定文化財保存管理奨励金 指定文化財を適切に保存するため、日常の管理経費の一部に充ててもらうため、日常的に管理している方に奨励金を交付する。			
イ 無形民俗文化財など保存活動事業補助金 本市に伝承されている無形文化財の伝承を確実なものにするため、保存団体に対し、活動事業の経費の一部を補助する。27年度は瓜生野百八松明、同盆踊り、下大槻百八炬火及びささら踊りに交付する。			
ウ 指定文化財保存事業費補助金			

指定文化財の保存事業に要する経費の一部について、管理者・所有者に対して、補助金を交付する。平成27年度は、桂林寺椎群及び稻荷神社公孫樹の剪定作業に補助金を交付する。

### (3) 文化財調査研究

内 容
ア 埋蔵文化財発掘調査整理 緊急雇用創出事業によって整理が完了した市内遺跡の発掘調査報告書について、編集し、報告書を刊行する。

### (4) 市指定文化財一覧

#### ア 国指定の文化財

##### 無形文化財

名称	保持者	指定日
芸能 義太夫節浄瑠璃	竹本駒之助氏	平成11年6月21日

##### イ 国登録の文化財

名称	所有者	登録日
戸川堰堤	神奈川県	平成15年3月18日
山ノ神堰堤	神奈川県	平成15年3月18日
猿渡堰堤	神奈川県	平成15年3月18日

##### ウ 県指定の文化財

##### 重要文化財

名称	数量	所有者	指定日
木造大日如来坐像	1体	宝蓮寺	昭和49年4月19日
秦野市平沢同明遺跡出土の 弥生前期壺形土器	1点	桜土手古墳展示館（寄託）	平成15年2月10日

##### 無形の民俗文化財

名称	保存団体	指定日
相模のささら踊り	秦野ささら踊り保存会	平成20年2月5日

##### 記念物

名称	数量	所有者	指定日
二子塚古墳	1基	都市再生機構	昭和58年8月30日
鶴巻の大ケヤキ	1本	鶴巻大ケヤキ保存会	昭和28年12月22日

##### エ 市指定の文化財

##### 重要文化財

名称	数量	所有者	指定日
絹本赤壁賦書画双卷	2巻	個人蔵	昭和40年12月8日
木造聖観音菩薩立像	1体	東光寺	昭和40年12月8日
木造薬師如来立像	1体	東光寺	昭和40年12月8日



石造六地藏尊像	6 体	真静院	昭和 40 年 12 月 8 日
木造聖観音菩薩立像	1 体	宝蓮寺	昭和 46 年 7 月 26 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	太岳院	昭和 46 年 7 月 26 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	極楽寺	昭和 54 年 3 月 23 日
木造十一面観音菩薩立像	1 体	円通寺	昭和 60 年 12 月 20 日
木造阿弥陀如来坐像	1 体	金蔵院	昭和 60 年 12 月 20 日
木造毘沙門天立像	1 体	龍法寺	平成 2 年 4 月 23 日
木造不動明王立像	1 体	龍法寺	平成 2 年 4 月 23 日
木造大日如来坐像	1 体	宝泉院	平成 2 年 4 月 23 日
木造五智如来坐像	4 体	宝蓮寺	平成 2 年 4 月 23 日
木造十王像他	18 体	宝蓮寺	平成 15 年 2 月 12 日
石造十王像	1 群	泉蔵寺	平成 15 年 2 月 12 日
弥生式土器	1 個	個人蔵	昭和 40 年 12 月 8 日
弥生式土器	1 個	南小学校	昭和 40 年 12 月 8 日
健速神社本殿	1 件	健速神社	平成 15 年 2 月 12 日
命徳寺山門	1 件	命徳寺	平成 15 年 2 月 12 日
八幡神社本殿	1 件	八幡神社	平成 15 年 2 月 12 日
木造二王立像	2 体	宝蓮寺	平成 20 年 4 月 18 日
絵画束帯天神像掛幅	1 幅	菅原神社	平成 22 年 1 月 15 日
二子塚古墳出土の銀装圭頭 大刀附二子塚古墳横穴式石 室内出土遺物	1 口及び 36 点	桜土手古墳展示館	平成 25 年 9 月 27 日

#### 有形の民俗文化財

名称	数量	所有者	指定日
ニホンオオカミの頭骨	1 個	個人蔵	昭和 40 年 12 月 8 日
ニホンオオカミの頭骨	1 個	個人蔵	昭和 40 年 12 月 8 日
戸川原の双体道祖神	1 基	戸川原自治会	平成 24 年 1 月 20 日

#### 無形の民俗文化財

名称	保護団体	指定日
瓜生野百八松明	瓜生野百八松明保存会	昭和 50 年 8 月 22 日
瓜生野盆踊り	瓜生野盆踊り保存会	昭和 52 年 7 月 16 日
鶴巻下部大山灯籠行事	鶴巻下部大山灯籠保存会	平成 27 年 6 月 23 日

#### 記念物

名称	数量	所有者	指定日
米倉丹後守一族の墓地	1 所	蔵林寺	昭和 43 年 3 月 28 日
源実朝公御首塚	1 基	秦野市	昭和 46 年 7 月 26 日
桜土手古墳群	1 群	桜土手古墳展示館ほか	昭和 47 年 12 月 27 日
杉	2 本	白山神社	昭和 46 年 7 月 26 日

大ムク	1本	八坂神社	昭和46年7月26日
公孫樹	1本	稲荷神社	昭和46年7月26日
桜	1本	南小学校	昭和46年7月26日
椎群	1群	桂林寺	昭和46年7月26日

### (5) 桜土手古墳展示館・公園の管理

内 容
<p>ア 維持管理</p> <p>来園者・来館者が快適な環境で学習できるように、桜土手古墳展示館・公園の適切な維持管理に努める。</p> <p>平成27年度は、園路の工事を行う。</p>

### (6) 市史資料整理・保存

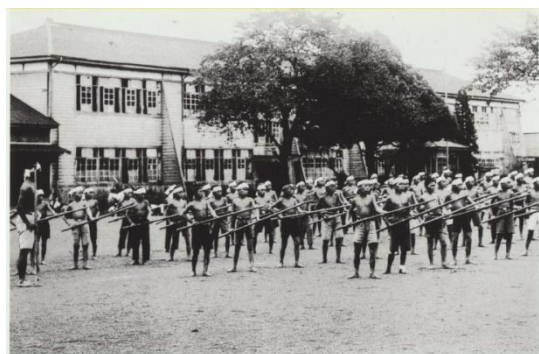
内 容															
<p>ア はだの史・発見展等</p> <p>展示会を桜土手古墳展示館等で開催する。また、秦野たばこ祭にあわせて「たばこ資料展」を開催する。</p>															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>日時</th> <th>4/17～4/30</th> <th>5/8～5/29</th> <th>8/4～8/30</th> <th>9/26～9/27</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>会場</td> <td>イオン秦野</td> <td>市役所本庁舎</td> <td>桜土手古墳展示館</td> <td>本町公民館</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>60年の歩み写真展</td> <td>60年の歩み写真展</td> <td>戦争の記憶展</td> <td>たばこ資料展</td> </tr> </tbody> </table>	日時	4/17～4/30	5/8～5/29	8/4～8/30	9/26～9/27	会場	イオン秦野	市役所本庁舎	桜土手古墳展示館	本町公民館	内容	60年の歩み写真展	60年の歩み写真展	戦争の記憶展	たばこ資料展
日時	4/17～4/30	5/8～5/29	8/4～8/30	9/26～9/27											
会場	イオン秦野	市役所本庁舎	桜土手古墳展示館	本町公民館											
内容	60年の歩み写真展	60年の歩み写真展	戦争の記憶展	たばこ資料展											



指定文化財特別公開（宝蓮寺）



春季特別展（桜土手古墳展示館）



はだの史・発見展「戦争の記憶」（桜土手古墳展示館）



たばこ資料展（本町公民館）

## 第3章 図書館

### テーマ「市民に親しまれる図書館を目指して」

図書館は、生涯学習の場として学習活動の振興と文化の発展に寄与しています。そのような中で、市民の学習目的や資料要求は多様化・高度化しており、時代の進展や変化などに伴う新たな社会の要請に対応できるように、より一層その役割を果たすことが求められています。

そこで、親子のふれあい、読書のきっかけ作りのためにブックスタートの継続、おはなし会など読書にちなんだイベントの充実を図ります。

また、季節や話題に合わせたお勧めの本の展示やリスト等により、読書離れの進む10代向けの読書推進活動を充実させます。

さらに、郷土資料等地域に密着した資料の紹介や、多様な価値観・ライフスタイルに応じたサービスの提供など、学校図書館をはじめ他の機関とも十分な連携を図り、情報の拠点づくりに努めてまいります。



#### 1 図書館事業の概要

内	容
(1)	<p>図書館資料の整備と適正な管理]</p> <p>市民の多様な要求に応えるため、計画的な図書館資料等の収集・受入・分類・配架・保存を行い、図書館資料の整備・充実を図ります。また、修理不能となった汚破損本や資料価値のなくなった資料、保存年限が経過した資料については、計画的な除籍に努めます。</p> <p>ア 図書、新聞、雑誌、紙芝居、CD等の選定購入、整理、登録</p> <p>イ 市民の要望を取り入れ、時代の要請を意識した資料の選定</p> <p>ウ 寄贈図書の収集、整理、装備、登録</p> <p>エ 蔵書点検による蔵書管理の徹底</p> <p>オ 汚破損図書等の補修又は除籍</p> <p>カ リニューアルコーナーの運営</p> <p>キ 特設コーナー(新着図書、季節や話題に関連した本の展示、山岳関連図書、10代向けの図書案内等)の充実</p>
(2)	<p>図書館サービスの充実</p> <p>図書館資料の閲覧と貸出サービスの充実、公民館図書室との連携強化、図書館電算システムの管理・運用に努めるとともに、図書館から離れた地域の利用者の利便を図るため、図書館、公民館図書室、自動車文庫を合わせ約49万冊の図書館資料の利用率向上に努めます。</p> <p>ア 国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの提供</p> <p>イ 団体貸出利用の促進</p> <p>ウ 戸外読書スペースを設置し、喫茶コーナーの開設</p>

- エ 自動車文庫(たんざわ号)の運営 定期巡回市内20箇所、特別巡回
- オ 市民の生活圏の広がりに対応した広域利用の推進(9市8町1村)
- カ 貸出予約システムを充実させるため、公民館図書室等との配送(週3回)
- キ 公民館図書室との図書館情報総合システムによる連携

### (3) 子ども読書活動の推進

秦野市子ども読書活動推進計画に基づき、具体的な推進施策を実施します。

- ア 乳幼児向け、小・中学生向けのブックリストの充実
- イ 小中学生を対象に体験学習の受入
- ウ 子どもや親子を対象としたイベント、見学会等の開催
- エ ボランティア団体と連携した「おはなし会」等の充実
- オ ボランティア養成講座等の開催
- カ 同養成講座修了者による定期的な「おはなし会」の開催
- キ 上智大学短期大学部と連携した定期的な英語によるおはなし会の実施
- ク 民間奉仕団体等による協力及びボランティア団体と連携したブックスタート事業の実施
- ケ 既存のおはなし会(概ね3歳～小2)及び乳幼児向けおはなし会の実施
- コ 季節や行事等に即した本の紹介の拡充

### (4) 市民大学の開催

東海大学との提携事業として、大学教員ならではの専門性の高い内容の講座を開講し、地域文化の向上を図ります。

- ア 専門学習塾(9～10月)

### (5) 郷土文学資料の収集と各種事業の開催

前田夕暮、谷鼎(かなえ)関連図書類をはじめとした短歌関係資料の収集、整理、調査、展示を行います。また短歌大会を開催し、秦野の文学遺産を受け継ぎ、短歌を活用したまちづくり「短歌のふるさとづくり」事業を進めます。

- ア 第28回夕暮祭短歌大会の開催(5月)
- イ 全日本学生ジュニア短歌大会への参加(9月)
- ウ 第29回夕暮記念こども短歌大会の開催(12月)
- エ 市制60周年図書館開館30周年記念講演会等の開催(10月～12月)

### (6) 視聴覚教材の活用

視聴覚機材・教材の整備に努め、その活用を図ります。

- ア 映画会の開催
- イ コミュニティ保育等子育てグループ対象の映画会の開催
- ウ 16ミリ映写機操作技術認定講習会の開催



夕暮記念こども短歌大会表彰式



こどもの読書週間

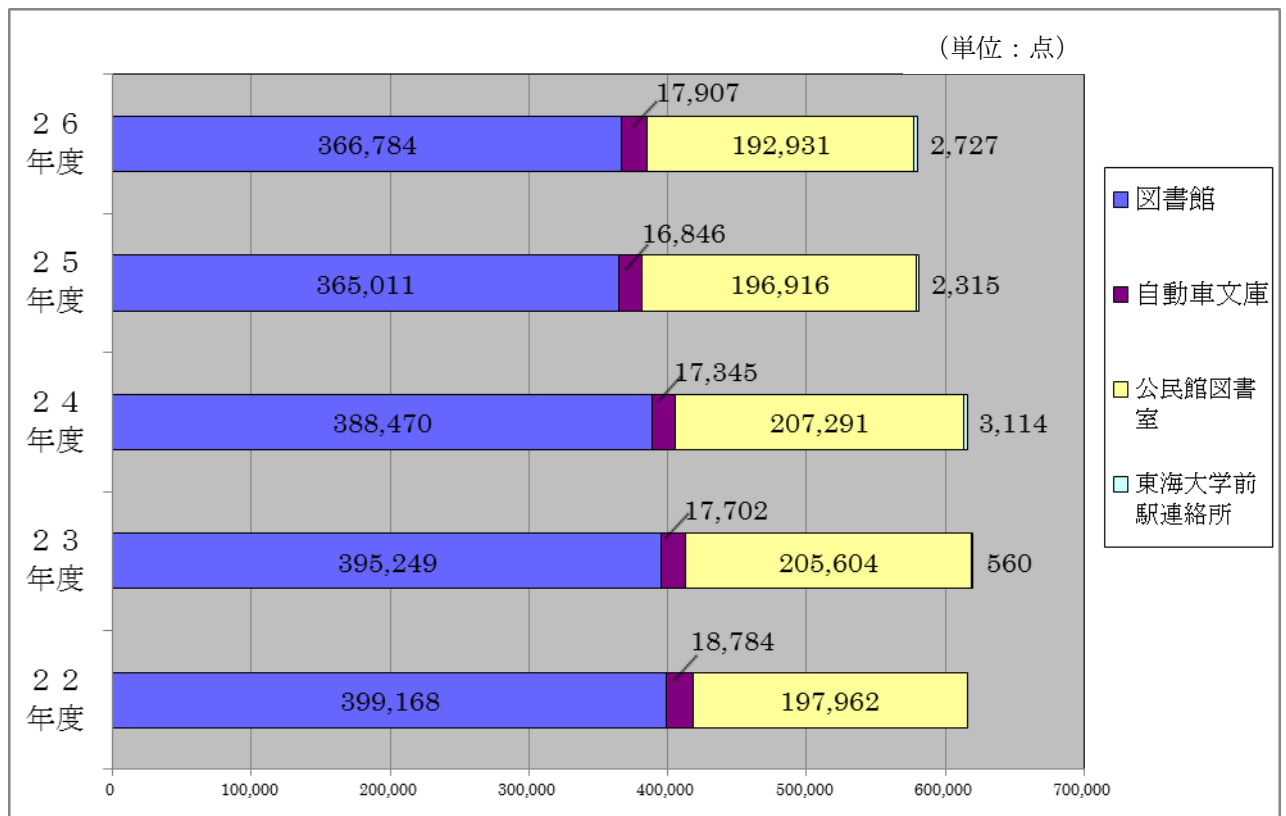


古典の日文学講演会



小学校の図書館見学

## 2 貸出点数の推移



※ 東海大学前駅連絡所は、平成23年12月から予約図書の貸出開始。